

## 第2学年 国語科学習指導案

日時 平成25年10月18日(金) 6校時  
 児童 男子15名 女子15名 計30名  
 授業者 富田 寿美子

- 1 単元名 音読劇をしよう  
 教材名 お手紙

### 2 単元を貫く言語活動とその特徴

身に付けたい力	言語活動設定の理由
◎語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 (読 ア) ◎場面の様子について、登場人物の行動や会話文を中心に想像を広げながら読むことができる。 (読 ウ)	① 単元を貫く言語活動 本単元を貫く言語活動として、登場人物の行動や会話文を中心どのように読んだらいいのかを書き込んだり簡単な動作を書き込んだりして、読み取ったことを話し合い、声と簡単な身体の動きを付け加えた音読劇をすることを位置付けた。 ② 言語活動の特徴 会話文や登場人物の行動を中心に、気持ちの書き込みをしながら、どのように音読したらよいかを考えることを通して、登場人物の気持ちの変化を読み取ることができる。また、挿絵を活用し動作化を入れた音読劇であれば、抵抗なく楽しんで学習に取り組みながら、その表情から登場人物の行動に気を付けて読み、場面の様子を豊かに想像することができる。 ③ 単元の目標の実現にどのように結びつくのか これら一連の言語活動を通して、児童は語り手の声そのもの、声の大小、速さ、間のとり方、表情などに触れて、文字などの抵抗なしに文学作品の世界に浸ることができる。また、どのように会話文を音読したらよいかを考えることを通して、場面の様子や登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができるものと考え。
言語活動	
★ゴールとしての言語活動	
★音読劇を1年生に発表する。	

### 3 単元について

#### (1) 児童について

児童は、2年生の物語文「ふきのとう」や「スイミー」の学習で、役割読みやお気に入りの場面を紹介するなどして、登場人物や場面の様子について想像を広げながら読む学習をしてきている。また、「スイミー」では、登場人物がしたことサイドラインを引くことで、登場人物の気持ちについて想像を広げながら読んだり、自分のお気に入りの場面を選んで感想を書き友だちに紹介したりすることができるようになった。

読書が好きな子どもが多く、読み聞かせの時も熱心に聞く姿が見られる。しかしながら、自分が読み手となって本や文章を音読する楽しさは味わう経験はまだない。音読をする際は大きな声で元気に読むことはできるが、語のまとまりや響き、場面の様子や気持ちが伝わるように気を付けて音読できる子どもは少ない。

児童の実態を知るための事前テスト（ 9月 17日実施）

	項 目	◎	○	△
①	誰が言った言葉か書くことができる。	27名		2名
②	登場人物の行動にサイドラインを引くことができる。	17名		12名
③	波線を引いた会話部分の気持ちを簡単に書くことができる。	13名	10名	6名

(2) 教材について

学習指導要領第1学年及び2学年における「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。また、本単元に関わって読むことの重点は、指導事項ア「語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。」と、指導事項ウ「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」である。

本教材「お手紙」は、二人の登場人物の行動を中心に、場所や時間の移り変わりがはっきり描かれている。かえるくんとがまくんの心のふれあいを通して、互いを大切にする二人の友情が伝わってくる物語である。子どもたちは、親しみのもてる登場人物に寄り添い、共に悲しんだり喜んだりして物語の世界に浸ることができる。また、会話文を中心に物語が展開され、場面の様子や登場人物の行動をよく表している挿絵も用いられているため、それぞれの人物になりきって音読する楽しさを味わうことができる。

簡単な動作も付けて演じる音読劇は、新鮮で学習意欲を喚起する言語活動である。また、本教材は7割以上が会話文からなる作品である。会話の際の二人の位置や距離、しぐさや顔の向きを考えることで二人の心の動きと心の通い合いを読み取ることができ、音読劇をするのに適した教材といえる。

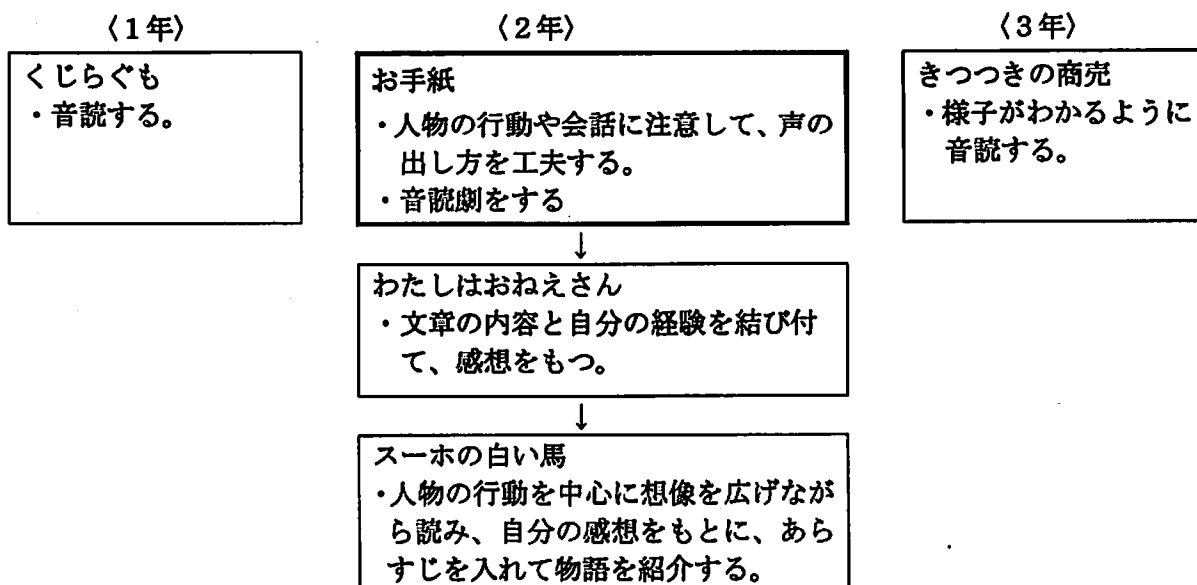
(3) 指導について

本教材の指導にあたって、次のような点に留意していきたい。

- ① 単元の最初やドリルタイムなどを利用してアーノルド＝ローベルの他の作品の読み聞かせしたり、アーノルド＝ローベルの作品を学級文庫においたりして、読書への興味、関心をもたせ読書の楽しさを味わわせていきたい。
- ② 単元の学習計画を掲示し、学習の順序を意識させるようにしたい。
- ③ 1年生に音読劇を見せることを常に意識させ、意欲をもって学習に取り組むようにしていきたい。
- ④ 第2次の学習では、好きな場面のかえるくんやがまくんの気持ちを書き込ませ、どの子にも気持ちや様子が表れるような音読を経験させたい。また、互いの音読を聞き合い互いの読み方の違いや解釈の違いに気付かせながら、教材文の叙述を基に根拠を明らかにした交流をしていきたい。その際、詳細に読むのはクライマックスの3の場面だけにしぼり、第3次の音読劇の時間を確保したい。
- ⑤ 第3次では、「ふたりシリーズ」から読みたい本を選び、2次の学習を生かしてゴールへの活動を展開したい。
- ⑥ 自己評価をさせることにより、自分の音読の工夫を意識させていきたい。

以上のことから、本単元での学習を通して、場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、音読で表現することのおもしろさを教えたい。

#### 4 単元の位置付け



#### 5 単元の目標

##### 【関心・意欲・態度】

- ・音読の楽しさに気付き、物語の特徴を生かして音読劇で自分の思いを表そうとしている。

##### 【読むこと】

- ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。(読 ア)
- ・登場人物の行動や会話に気を付けて読み、場面の様子を想像することができる。(読 ウ)

##### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・主語と述語の関係について理解することができる。(伝国(1)イ(カ))

#### 6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・物語の特徴を生かして、音読劇に表そうとしている。	・音読劇をするために選んだ物語について、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ・場面の様子を音読劇で表すという目的をもって、登場人物の行動や会話に気を付けて読み、場面の様子を想像している。	・主語と述語の関係について理解している。

7 単元の指導計画 (全12時間)

次	時	指導目標	ゴールに向かうための言語活動	評価規準 (評価方法)
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「音読劇で、お話の楽しさを1年生につたえよう」という学習課題を知り、学習の見通しをもつことができる。</li> <li>・「お手紙」を読み、楽しい音読劇にするための学習計画を立てることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アーノルド＝ローベルの作品の読み聞かせを聞き、感想を発表し合う。</li> <li>・単元名やリード文を読んで、学習課題をノートに書く。</li> <li>・挿絵を手がかりに、登場人物や場面の移り変わりとらえ、3つの場面に分ける。</li> <li>・ゴールを見通し学習計画を確認する。</li> </ul>	<p>【関】話に興味をもって範読を聞いて、感想をもっている。 (発言・ノート・観察)</p> <p>【読】場所の移り変わりに着目しながら読み、3つの場面に分けている。 (発言・観察)</p>
第2次	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話の大体をつかみ、登場人物の性格や二人の関係を大まかにとらえることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・叙述や挿絵を手がかりに、どんなお話か話し合う。</li> <li>・二人の性格の違いや関係について話し合う。</li> </ul>	<p>【読】叙述や挿絵を基に、登場人物の性格や二人の関係を大まかにとらえている。 (発言・観察)</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だれの会話文なのか正しく読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語の関係をとらえ、誰の会話文なのか話し合う。</li> </ul>	<p>【言】だれが何を言ったのか理解している。 (教科書・発言)</p>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読したい場面を決め、読み方や動きを書き込み音読することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話文を中心にどのように表現したらよいのか動作化を交えて、音読の仕方を書き込む。</li> </ul>	<p>【読】会話文や行動を中心に書き込みをし、場面の様子をとらえている。 (教科書・音読・発表)</p>
	5 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3の場面」を読み、手紙を待つ二人の気持ちを書き込み、音読劇をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気のないがまくんと手紙を待つかえるくんの気持ちの違いに気を付けて書き込みをし、場面の様子を想像しながら音読劇をする。</li> <li>・がまくんの気持ちの変化と二人の心が通い合った様子について、挿絵の表情や動作化を通して「1の場面」との違いに気づかせながら音読劇をする。</li> <li>・「3の場面」の前半か後半から好きな場面を選び、役割読みをして、読み方の工夫や動きについて交流をする。</li> </ul>	<p>【読】登場人物の言動から気持ちを想像し、音読劇をしている。(発言・観察)</p> <p>【読】友だちの発表を聞いて自分の意見を出している。 (発言・観察・発表)</p>

第3次	7 8 9 10 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなお話を選び、グループで役割分担を決めて、音読劇の練習をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに役割を決める話し合いをする。</li> <li>登場人物の行動や会話を中心に読み、台本に気持ちや簡単な動作を書き込む。</li> <li>書き込んだことをもとに、グループで工夫しながら音読劇の練習をする。</li> <li>グループごとの交流をして、アドバイスし合う。</li> </ul>	<p>【関】自分なりに音読劇の練習に楽しんで参加している。(観察)</p> <p>【読】登場人物の言動から気持ちを読み取り、場面の様子を想像しながら音読劇の練習をしている。(台本・音読・観察)</p> <p>【読】よい発表ができるように意見を出している。(発言・観察)</p>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習したことを生かして1年生に音読劇の発表をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生に音読劇を発表する。</li> </ul>	<p>【読】お話の楽しさを工夫して発表している。(発表・台本)</p>

## 8 本時の指導

### (1) 目標

場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら、音読劇の練習をすることができる。

### (2) 提案したいこと

- 第2次で行った書き込みを生かし、グループで登場人物の会話や行動を中心に音読の工夫をすることで場面の様子を読み取れるのではないか。
- お互いの音読の交流をすることで、読み方を深めたり聞き手に声を届けることの大切さを意識させたりすることができるのではないか。

### (3) 展開

段階	学習内容・活動 (○主な発問・指示 ・予想される児童の反応)	指導上の留意点 (*評価 △支援を要する児童への手立て)
つかむ 5分	<p>1 前時を想起し、本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>ぼめんのようすがつたわるように、音読げきのれんしゅうをしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲示してある学習計画を用いて本時の学習内容を確認させる。</li> <li>1年生に発表するための練習であることを確認し、意欲を高める。</li> </ul>
	<p>2 自分の役割を確認して読み、気持ちや簡単な動作などを書き込む。</p> <p>○グループで選んだ場面を役割読みで音読しよう。</p> <p>○今の読み方で場面の様子や登場人物の気持ちが伝わりそうですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで選んだ場面の役割読みをし、声を出す練習をする。</li> <li>前時に決めたグループで活動する。</li> </ul>

<p>ふかめる</p> <p>35分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み方の工夫が必要です。</li> <li>○自分の台詞にどんな読み方をすればいいのか書き込みをしよう。</li> </ul> <p>3 場面の様子や登場人物の心情が表れるようにグループで工夫して練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○書き込みをもとにグループで練習をしてアドバイスをし合うようにする。</li> </ul> <p>4 交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いくつかのグループの発表を聞いて、いいなと思ったところやアドバイスなど感想を交流する。</li> <li>○工夫されているところがありますか。</li> <li>・困っているがまくんを励まそうとしているかえらくんの気持ちが伝わるように大きな声で明るく読んでいてよかった。</li> <li>・がまくんがボタンをなくして困っている気持ちがわかるようにがっかりしたように読んでいました。</li> </ul> <p>5 交流をもとにまとめ読みをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちのよいところを参考にしてグループで今日のまとめ読みをしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の台本に書き込みをする。</li> <li>・簡単な動作も書き込むように指示する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*登場人物の言動から読み取ったことを書き込み、場面の様子を想像しながら音読劇の練習をしている。(台本・音読・観察)</p> </div> <p>△挿絵をもとに考えさせたり、表情が分かるように顔マークを書いたりしてどんな気持ちか考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>*自分なりに音読劇の練習に楽しんで参加している。(観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさや間の取り方だけでなく、気持ちや様子がわかるように工夫されているかなど、聞く視点を示してから交流をする。</li> <li>・異なる読み方でも「自分は～と考えたので～と読んだ」と言うように、根拠を明らかにすることで読みを深めさせる。</li> <li>・同じ本を選択した子どもにも問いかけ、自分たちの練習を振り返らせる。</li> <li>・動作を取り入れているグループがあれば紹介する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で参考にできる読みやよかったところを確認しながら、一回通して音読させる。</li> </ul>
<p>まとめ</p> <p>5分</p>	<p>5 今日の学習のめあてを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで練習ができましたか。</li> <li>○場面の様子や気持ちが伝わるように音読劇の練習ができましたか。</li> <li>○分かったこと、できたことを一文で書こう。</li> </ul> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート(ノート)に今日の学習の振り返りをさせる。</li> </ul>

(4) 板書計画

音読げきをしよう

ぼめんのようすがつたわるように、  
音読げきのれんしゅうをしよう。

学習のながれ

① 会話やこうどうにサイドラインをひいて書きこみをする。

あきらめてがっかりしたように

「そんなこと、あるもんかい。」

② グループでれんしゅうをする。

こうりゅう

- ・ はげましているようす
- ・ こまっている感じ
- ・ 間のと리카たがいい
- ・ 顔の向きがいい

④ ふりかえり

○ すすんでれんしゅうができましたか。

○ ぼめんのようすがつたわるように、  
音読げきのれんしゅうができましたか。

○ 分かったこと、できたことを一文で  
書こう。

言語活動設計図

単元名 音読げきをしよう。

教材名 お手紙

第 3 次				第 2 次				1 次	次											
1	2	1	1	1	0	9	8	7	6	5	4	3	2	1	時					
<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子が伝わるように音読劇をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>同一作者の本を読み、好きなお話を選んで、場面の様子について、登場人物の会話を中心に想像を広げら読む。</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>会話文から想像を広げて読む。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「お手紙」を読んで、場面の様子や登場人物の言動について、想像を広げて読む。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>会話文から想像を広げて読む。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>三つの場面に分け、粗筋をとらえる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しをもつ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>身に付けた力を支える要素</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>書き込んだことを生かして音読劇をする。</li> <li>お話の楽しさが伝わるように音読劇を発表する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵や場面の様子、登場人物の言動について想像を広げて楽しんで読む。</li> <li>挿絵や登場人物の会話から、気持ちの書き込みをする。</li> <li>書き込みをもとに音読をする。</li> <li>挿絵や登場人物の様子について簡単な動作を入れて音読劇をする。</li> <li>姿勢や口形、声の大きさや読む速さなどに注意して音読する。</li> <li>互いの音読を聞き合い、根拠を明らかにして読み取りを深める。</li> </ul>							<ul style="list-style-type: none"> <li>挿絵や場面の様子、登場人物の言動について想像を広げて楽しんで読む。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>会話文を中心に気持ちの書き込みをする。</li> <li>場面の様子が伝わるように音読する。</li> <li>互いの音読を聞き合い、工夫やよさを学び合う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>主語と述語の関係をとらえだれの会話文なのか話し合う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>叙述や挿絵をもとにどんなお話か話し合う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>題名に関心もち全文を音読する。</li> <li>単元名やリード分を読んで、学習活動を確認する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴールに向かうための言語活動</li> </ul>	